

教員一覧

(2021年4月1日現在)

■ 所長

井上 章一 風俗史

■ 副所長

瀧井 一博 国制史、比較法史
松田 利彦 日朝・日韓関係史

■ 教授

荒木 浩 日本文学
磯田 道史 日本史学
磯前 順一 宗教学、批判理論
伊東 貴之 中国思想史、東アジア比較文化交渉史
牛村 圭 比較文学、比較文化論、文明論
大塚 英志 まんが表現史、まんが創作理論、柳田國男研究
倉本 一宏 日本古代史、古記録学
フレデリック・クレインズ 日欧交渉史
関野 樹 情報学
坪井 秀人 日本近代文学・文化史
安井 眞奈美 日本民俗学、文化人類学
山田 奨治 情報学、文化交流史
劉 建輝 日中文化交渉史
マルクス・リュッターマン 日本中世社会史・記号論・心性史・言動史

■ 准教授

榎本 涉 中世国際交流史
楠 綾子 日本政治外交史、安全保障論

■ 助教

呉座 勇一 日本中世史
白石 恵理 日本美術史
松木 裕美 美術史、芸術学

■ 特任助教

石上 阿希^{*1} 近世文化史
前川 志織 日本近代美術史、デザイン史
光平 有希^{*2} 音楽療法史



※1 人間文化研究機構 総合人間文化研究推進センター 特任助教
(併任 国際日本文化研究センター 特任助教)

※2 人間文化研究機構 総合情報発信センター 特任助教
(併任 国際日本文化研究センター 特任助教)

交通案内



阪急桂駅(西口)から

- 京都市バス「西5」「西6」で約30分
- 京阪京都交通バス「20」「20B」で約20分
- タクシーで約15分

JR桂川駅から

- ヤサカバス「1」「6」で約30分
- タクシーで約20分
- JR桂川駅までは、JR京都駅から大阪方面行き(普通)に乗車約5分

JR京都駅(烏丸中央口)から

- 京阪京都交通バス「21」「21A」「26」で約45分

バスはいずれも「桂坂中央」行き、「桂坂小学校前」
又は「花の舞公園前」下車で徒歩約5分

〒610-1192 京都市西京区御陵大枝山町3丁目2番地
TEL (075) 335-2222(代) / FAX (075) 335-2091

<https://www.nichibun.ac.jp>

表紙: 建築家 内井昭蔵氏による日文研設計時のイメージスケッチ



National Institutes for the Humanities
International Research Center for Japanese Studies

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

国際日本文化 研究センター

2021

概要



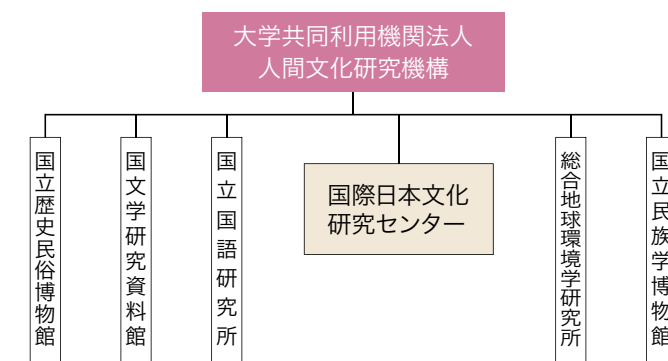
日文研とは

国際日本文化研究センター(以下、日文研)は、日本文化に関する国際的・学際的な総合研究と世界の日本研究者に対する研究協力・支援を行うことを目的として1987年に設置されました。

日文研は、日本の文化・歴史を国際的な連携・協力の下で研究するとともに、外国の日本研究者を支援するという大切な使命をもった大学共同利用機関です。この使命を推し進めるために、国内外から参加する多様な専門領域の共同研究員による、分野横断的な日本文化に関する研究を展開しています。

また、海外から人文・社会科学等の諸分野の研究者を招いて最新の成果や情報に基づく自由で創造的な研究活動を行うとともに、その情報を発信するなど、日文研は、日本研究の国際的拠点としての役割を担っています。

組織



日文研の役割

1. 日文研は、国際的・学際的・総合的な観点から、日本文化に関する研究課題を設け、国内外から参加する様々な分野の研究者による共同研究に取り組んでいます。
2. 共同研究を、「重点共同研究」「国際共同研究」「基幹共同研究」という3領域のもとに、柔軟な組織・運営により推進しています。
3. 世界各地の日本文化の研究者・研究機関に、研究情報を発信するとともに、実情に応じた研究協力を行っています。
4. 和文・英文による図書・学術雑誌、講演会、シンポジウムなど様々な研究成果を、広く国際社会に提供しています。
5. 総合研究大学院大学文化科学研究科国際日本研究専攻・博士後期課程では、次代の研究者養成に努めています。また、国内外の大学院生・留学生を受入れて指導しています。

所蔵資料



図書館

日本研究に必要な各種資料を幅広く収集し（図書資料約58万冊）、国内外の研究者の利用に供するとともに、様々な情報を提供しています。利用者は図書を自由に手にとって閲覧することができます。外部の方でも、学術研究・調査等を目的とする場合であれば、事前申請のうえ閲覧が可能です。



稲生家妖怪傳巻物（抜粋）
〔日文研所蔵〕

The Belle of Japan
〔日文研所蔵〕

データベース

所蔵する日本研究資料、所員の研究成果をはじめ、他機関所有の日本研究資料などのデータベースを作成しており、現在43種類をウェブで公開しています。※2021年7月1日現在



データベースの一例
「浪曲SPレコードデジタルアーカイブ」

活動

研究活動

共同研究

日本文化に関する国際的・学際的なテーマに基づく総合研究を、国内外の研究機関や研究者と協力しながら行っています。既存学問では周辺化されたテーマも取りあげ、また、グローバルな観点から他地域との交流や影響関係を理解することで、人文学のフロンティアを開拓する斬新かつ堅固な研究を目指しています。

基幹研究プロジェクト

人間文化研究機構が第3期中期目標期間（2016年度～2021年度）に掲げるプロジェクトです。日文研では「大衆文化の通時的・国際的研究による新しい日本像の創出」事業等を通じ、国際的な研究ネットワークの再構築と、人間文化の新たな価値体系の創出を目指しています。

「国際日本研究」コンソーシアム

「国際日本研究」や「国際日本学」を掲げる大学院・研究所等を連携させ、海外研究者ネットワークと結びつけることを目指した我が国初の試みです。学術的共同研究、国際ワークショップ等を通じて学問的基盤を構築しながら、若手研究者の育成にも努めています。

研究協力活動

国際研究協力

「海外シンポジウム」を含めた国内外での研究交流ネットワーク形成事業のほか、来日中の外国人研究者による発表・交流の場として「日文研フォーラム」等の各種レクチャー、セミナーを開催しています。

資料の収集・整理・提供

収集する主な資料には次のようなものがあります。

- ・外国語で書かれた日本研究図書
- ・日本研究関連の文献目録及び映像・音響資料
- ・海外における日本研究者・研究機関に関する情報

これらはデータベース化され、広く公開されています。

学術交流協定

国内外の大学・研究機関との組織的共同研究及び研究者交流を推進するため、学術交流協定を随時締結しています。

普及活動

研究成果の出版および情報発信

『日本研究』、『Japan Review』、『日文研叢書』、『Nichibun Monograph Series』、『共同研究報告書』、『日文研』などを「日文研オープンアクセス」で公開しています。

社会貢献

学術講演会、一般公開、日文研—京都アカデミックブリッジなどを開催しているほか、地域の小学校への出前事業も実施しています。

◆詳細は日文研ウェブサイトでも発信しています。

共同研究

2021年度 共同研究一覧

（2021年4月1日現在）

研究課題	研究代表者
応永・永享期文化論 ——「北山文化」「東山文化」という 大衆的歴史観のはざままで——	共同研究員 准教授 大橋 直義・榎本 渉
近代東アジア文化史の再構築Ⅰ ——19世紀の百年間を中心に	教授 劉 建輝
文明としてのスポーツ／文化としてのスポーツ	教授 牛村 圭
比較のなかの「東アジア」の「近世」 ——新しい世界史の認識と構想のために——	教授 伊東 貴之
国際的文化発信のなかの日本像 ——柳澤健の学際的研究——	客員教授 准教授 芝崎 厚士・楠 綾子
身体イメージの想像と展開 ——医療・美術・民間信仰の狭間で	教授 共同研究員 安井真奈美・ローレンス・ マルソー
植民地帝国日本とグローバルな知の連環	教授 松田 利彦
蜘蛛の巣上の無明：電子情報網生態系下の身心知の将来	客員教授 稲賀 繁美
日文研所蔵井上哲次郎関係書簡の研究 ——国民国家の始発と終焉	教授 客員教授 磯前 順一・菊田 真司
ソリッドな〈無常〉／フラジャイルな〈無常〉 ——古典の変相と未来観	教授 荒木 浩
日本のサブカルチャーと多様性——グローバルな多様 化社会に貢献する国際日本学の研究方針とベガゴジー	外国人研究員 エルネスト・ディ・アルバン エドモン
「かのように」という原理で形成してきた文通 ——「文書」概念や、その様式、記号、表象、意図性	教授 マルクス・リュッターマン
縮小社会の文化創造： 個・ネットワーク・資本・制度の観点から	教授 山田 奨治
戦後日本の傷跡	教授 共同研究員 坪井 秀人・宇野田尚哉
日本型教育の文明的位相	教授 瀧井 一博
貴族とは何か、武士とは何か	教授 倉本 一宏
西洋における日本観の形成と展開	教授 フレデリック・クレインス
東アジアのMultidisciplinary Scienceとしての本草学の 再構成——実物検証を伴う文理融合研究の新展開——	客員准教授 教授 伊藤 謙・磯田 道史



最近の日文研出版物

井上所長による所内案内
（一般公開オンライン動画）

2020年度 活動の記録

*は一般の参加が可能なものです。
2021年度の活動についてはお問い合わせ下さい。

活動一覧		
2020年 10月	日文研—京都アカデ ミックブリッジ*	「愛と芸術の都を語ろう」 （京都新聞文化ホール）
	展示*	「京都からやってきた妖怪たち ——国際日本文化研究センターコレクション——」 （三次もののけミュージアム）
	特別講演会*	小松和彦先生退任記念講演会 「私の学問人生と日文研」 （YouTubeにて同時配信）
	展示*	「CHINA GRAPHY ——日本のまなざしに映った中国——」 （大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館）
11月	「国際日本研究」 コンソーシアムほか 主催	国際新世代ワークショップ 「越境する日本語・日本文化 ——言語文化の多様性をもとめて」 （オンライン開催）
	国際研究会*	「帝国のはざまを生きる ——交錯する国境、人の移動、アイデンティティ」 （オンライン同時開催）
	一般公開*	「経験と記録：世界はいかに疫病と対峙してきたか」 （オンライン開催）
12月	日文研フォーラム*	「疫病から石化話へ ——日中生死観とその文学表現の比較」
	「国際日本研究」 コンソーシアム主催	「ヨーロッパ日本研究学術交流会議 ——緊急会議 After/Withコロナの「国際日本研 究」の展開とコンソーシアムの意義——」 （日文研、オンライン）
	「国際日本研究」 コンソーシアムほか 主催	国際シンポジウム 「日本研究の新展開：グローバル化時代の研究・教 育を見据えて」 （大阪大学豊中キャンパス、大阪大学中之島セン ターおよびオンライン）
2021年 2月	学術講演会*	細川周平先生退任記念講演会 「チンドンの因縁」 （YouTube プレミアにて配信）
3月	日文研—京都アカデ ミックブリッジ*	「京と江戸 美の文化学」 （京都市京セラ美術館）
	大衆文化研究 プロジェクト主催	2020年度日中妖怪研究シンポジウム （オンライン開催）
	展示*	「明石博高と島津源蔵 ——京の近代科学技術教育の先駆者たち——」 （特設ウェブページにて公開）